

一般質問



教育と福祉の連携を 強化した発達支援を



無所属の会 市民の力 ● 植中 みやこ 議員

問 本市では、さまざまな個性・特性をもつ子どもたちに、それぞれ関係する福祉、保健、医療、子育て、人権、労政、教育などの部局や関係支援機関との連携をもつて、幼児期から就労期までの一貫した切れ目のない支援をしています。個別指導計画の活用は。

答 研修や関係者の協議で改善を重ねるなど、継続的な努力で学校間格差をなくしていきます。中学3年生で指導計画や支援計画を作成している生徒は、義務教育終了後の進路先へも引きついでいます。

問 来年度から民間へ移行予定の保育園などでの、現行の発達支援療育・保育の保障は。

答 民間事業所には、発達支援システムの説明を行い、同様に取組む同意を得ています。

具体的な取組みを再度確認します。

問 人がつなぐ協働事業として連携強化は。

答 教育委員会に社会福祉士を配置し、発達支援室に教員を入れるなど、人的な乗り入れをして、教育と福祉の融合を目指しています。また学校と放課後デイサービスや学童保育所等が情報共有し、役割分担しながら子どもに関わっていきます。子どもの生活や学びが多様化しており、大事なポイントを引き継いでいくために、長期的視野で人材育成に努めます。発達支援室は、東庁舎改修後は社会福祉課に隣接の予定です。

問 就労定着の支援は。

答 平成30年度に相談から一般就労につながった4件中3件が継続、関連機関と連携して就労定着を進めます。



音楽振興と子育て支援 通学路の安全について



無所属の会 市民の力 ● 赤祖父 ゆみ 議員

指定管理者制度について

問 公共経営に果たす自治体の役割は。

答 維持管理費用の削減が目的ではなく、質の高い公共経営を行う事と考えている。

問 公募にした理由と目的は。

答 指定管理者制度導入基本方針では、原則として公募する事としており、自主事業の開催、文化・体育の振興事業といったソフト面を担って頂きたい。

病児保育事業の拡充

問 子育て支援策は女性活躍推進事業としても大変重要です。子ども・子育て関連3法として国からの支援もあります。母子家庭の支援策としても、病児保育お迎えサービスの拡充についての見解は。

答 この事業は、子ども子育て支援交付金の

補助金メニューにありますが、県内、全国的にも実施している自治体は少ない状況です。サービスの必要性はありと見え、ニーズを見極め検討していきます。

歩道設置について

市道宮ヶ谷線(宝来坂)

答 引き続き裁判中ですが、官民境界区域内で、通学路交通安全プログラムの方策として、早急にガードレールの移設を考えます。

主要地方道草津伊賀線(夏見交差点西側)

答 県に要望していただきます。市としてもできる限り協力し、早期整備に繋げたい。



ガードレールが移設される宮ヶ谷線